

「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」を目指して

「令和元年度さいたま市学習状況調査」の調査結果より

児童生徒 保護者向けリーフレット

「令和元年度さいたま市学習状況調査」（令和2年1月9日実施）の結果について、お知らせします。

さいたま市では、子どものよい点を伸ばし、課題を解決するために、小学校第1学年から中学校第3学年までの児童生徒を対象に実施している「さいたま市学習状況調査」の結果を分析し、確かな学力の向上や望ましい生活習慣の確立等に役立てています。

ご家庭におきましては、お子さんと日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の仕方について話し合う際に、「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」と併せて、本リーフレットをお役立てください。

「令和元年度さいたま市学習状況調査」の概要

<調査実施日> 令和2年1月9日（木）

<調査対象> 小1から中3の全児童生徒

<調査内容>

●学力に関する調査

小3, 小4, 小5, 小6 国語, 算数

中1~中3 国語, 数学

※中学校第3学年については、「第3回さいたま市学力検査」をもって充てることとします。

●生活習慣等に関する調査

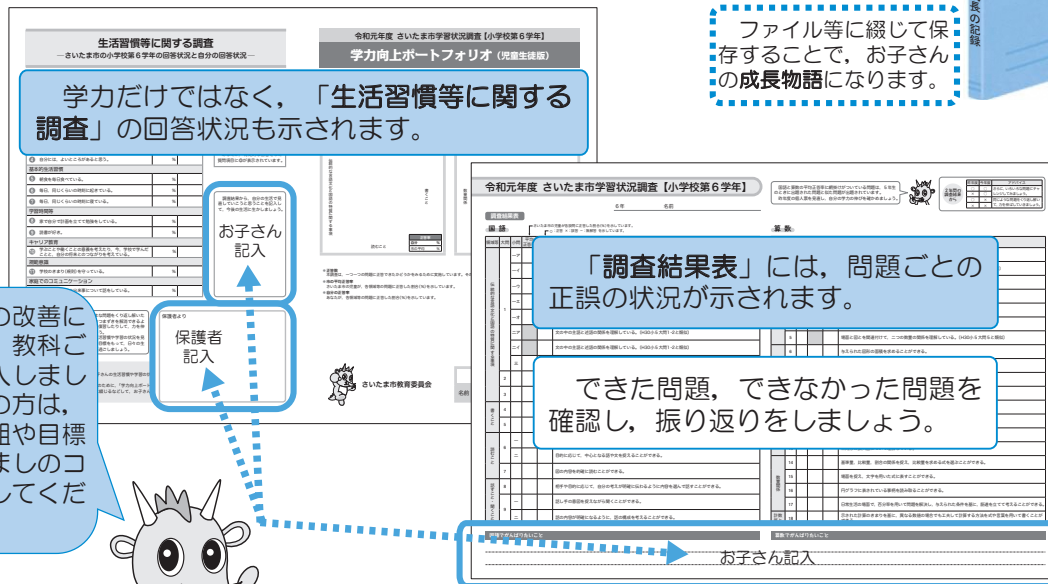
小1~中3 学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等に関する内容

「学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)」を活用しましょう

ファイル等に綴じて保存することで、お子さんの成長物語になります。



学力だけではなく、「生活習慣等に関する調査」の回答状況も示されます。



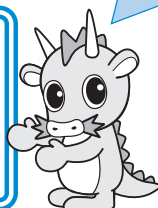
「調査結果表」には、問題ごとの正誤の状況が示されます。

できた問題、できなかった問題を
確認し、振り返りをしましょう。

生活習慣等の改善に向けた取組や、教科ごとの目標を記入しましょう。保護者の方は、お子さんの取組や目標に対して、励ましのコメントを記入してください。

お子さん記入
保護者記入

さいたま市立教育研究所のWebページには、学力向上に役立つ様々な情報が掲載されています。ぜひ、ご活用ください。

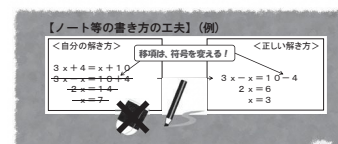


「学びの足あと」を振り返りましょう

「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」を見る際には、解答用紙縮小版や問題用紙を手元に準備し、どのような問題でどのように解答したのかを確認しましょう。特に、間違えてしまった問題については、自分がどのように考え間違いに至ったのか、「学びの足あと」を振り返ることが大切です。

「学びの足あと」とは、「子どもたちが、自分の考え^{*}を表現したものです。学習を振り返ったり、自分ができるようになったことを確認したりすることで、学習意欲の向上につながると考えます。ご家庭においても、「『学びの足あと』を残す」取組を大切にしてください。

※「考え」とは、ここでは思考の過程やその結果を表します。



学力に関する調査

各教科の平均正答率（％）と平均点 ※中3のみ平均点

学年	国語	算数・数学
小3	72.4	68.4
小4	69.1	65.3
小5	75.4	65.6
小6	73.1	63.8
中1	63.4	63.1
中2	70.9	57.5
中3	67.8	50.1

●学びの向上クイックレポート

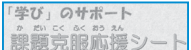
全国や市独自の学習状況調査に関する情報を動画で配信



さいたま市立教育研究所Webページ <http://www.saitama-city.ed.jp>

●課題克服応援シート

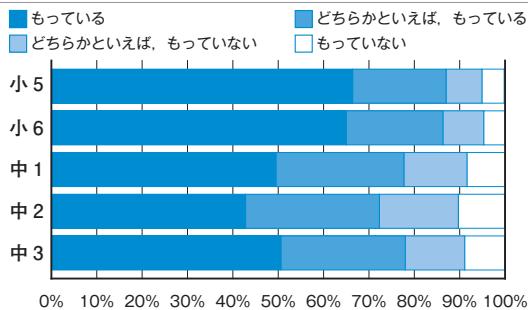
課題を克服したり、活用する力を伸ばしたりするためのワークシートを掲載



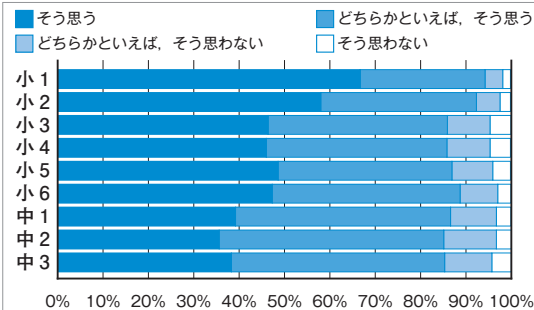
生活習慣等に関する調査

キーワードは「褒める」「認める」「励ます」

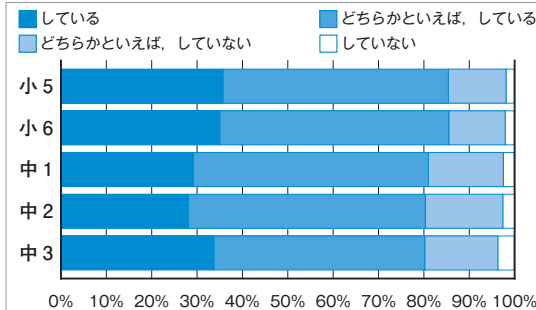
★将来の夢や目標をもっている



★自分にはよいところがある



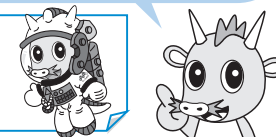
★難しいことでも失敗をおそれず挑戦できる



この3つの質問は、小6、中3を対象に実施している「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査と同じ質問項目です。さいたま市の子どもたちは、全国と比較して、肯定的な回答の割合が高いことが特徴です。
ご家庭では、具体的に褒めたり、認めたり、励ましたりすることで、お子さんが自分のよいところに気付くことができるような関わりを大切にしてください。

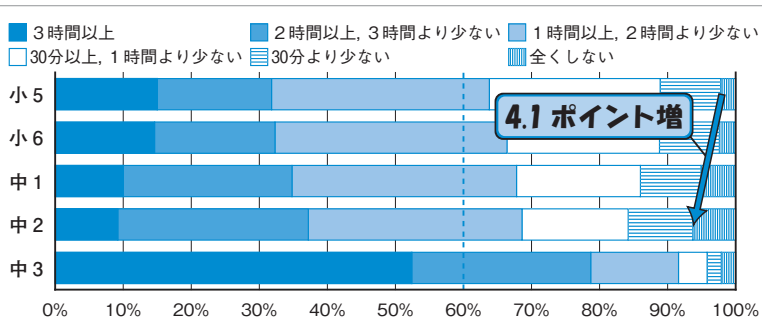
自分の夢や目標をもつことは、そのゴールに向かって努力していこうとする「学びのエネルギー」となります。

あなたの夢や目標を書き、ご家族に話しましょう。



日々の学習習慣を身に付けましょう

★1日あたりの勉強時間（学校の授業時間以外）



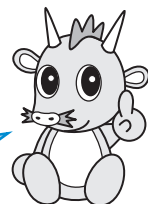
「全くしない」の割合
小5：2.2%
↓
中2：6.3%
4.1ポイント増

生活習慣等と学力の関係を分析すると、1日あたりの勉強時間が長いほど正答率が高い傾向にあります。

さいたま市では、小5～中3において60%以上の子どもたちが勉強時間は「1時間以上」と回答しています。一方、学年が上がるにつれて、「全くしない」と回答している割合が大きくなっています。毎日、少しずつでも勉強する習慣を身に付け、継続して取り組みましょう。

大切なのは、自分の学習や生活習慣を振り返り、改善できるようにすることです。具体的な目標を設定して実践し、よりよい生活習慣等を身に付けていきましょう。

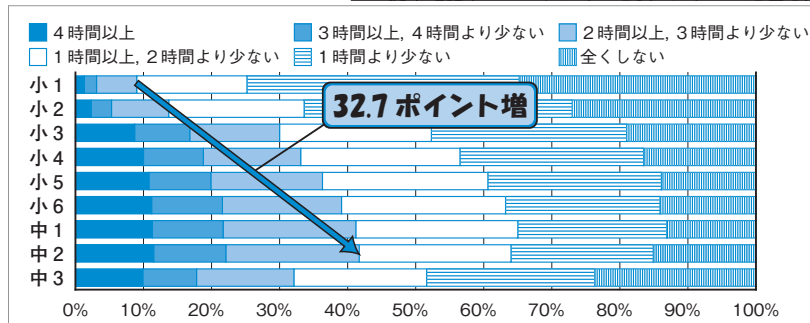
保護者の方は、お子さんの生活習慣等が改善できたときに、褒めたり、認めたり、励ましたりする声掛けをお願いします。



テレビゲームをするときは、時間や場所など、約束を守りましょう

★1日あたりのテレビゲーム※をする時間

（※コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）



「2時間以上」の割合
小1：9.0%
↓
中2：41.7%
32.7ポイント増

生活習慣等と学力の関係を分析すると、1日あたりのテレビゲームをする時間が短いほど正答率が高い傾向にあります。

さいたま市では、学年が上がるにつれて、長時間テレビゲームをしている子どもの割合が大きくなっています。家族で相談して、テレビゲームをする時間や場所などについて約束を決め、守ることを心掛けましょう。

上記以外の質問項目の回答状況については、さいたま市立教育研究所のWebページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

さいたま市立教育研究所 学習状況調査

検索